

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	日本郵便株式会社 名古屋西郵便局
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市西区天神山町四丁目5番
工場等の名称	名古屋西郵便局
工場等の所在地	名古屋市西区天神山町四丁目5番
業種	運輸業、郵便業
業務部門における 建築物の主たる用途	その他
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	郵便業(信書便事業を含む)
計画期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月28日 ~ 令和5年10月26日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) 窓口ロビー
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-523-8621		

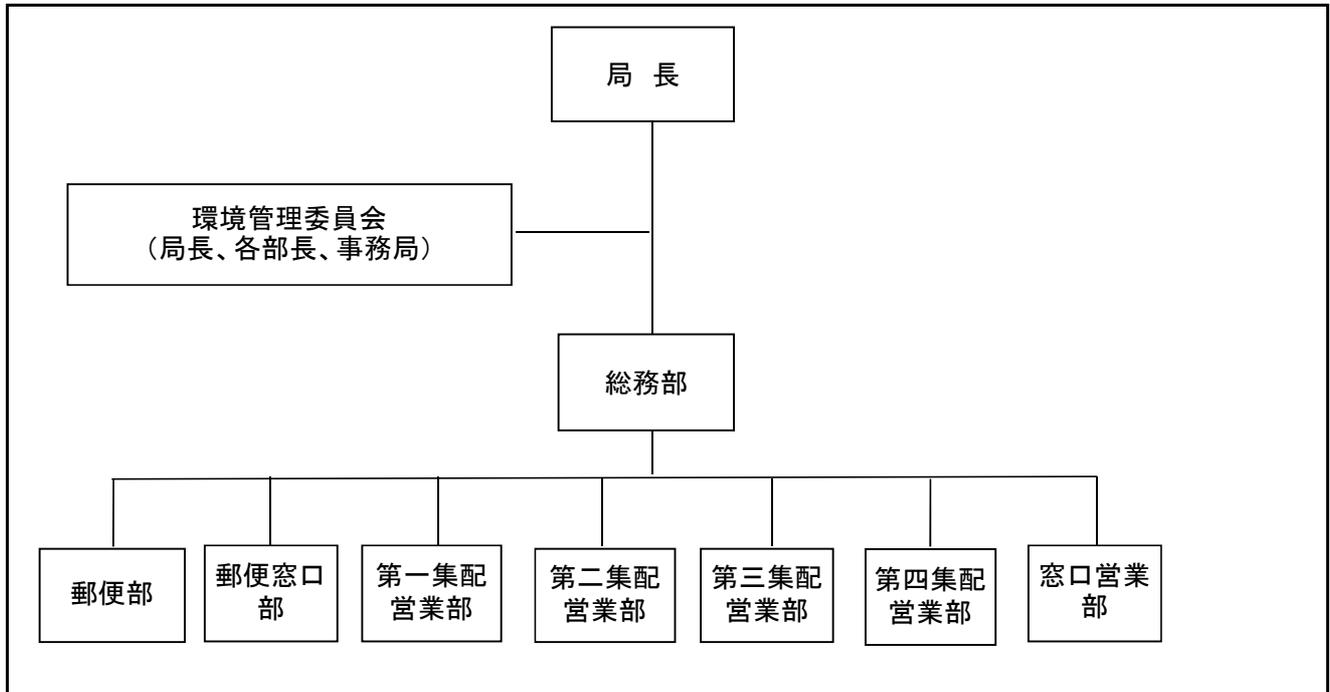
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

私たちは、全国に多数の施設と車両を有する企業として、環境に配慮した事業運営を行う社会的責任の大きさを認識し、気候変動による影響に適応した事業運営に努めるとともに、地球環境への負荷低減に配慮した事業活動及び環境保全活動を積極的に推進します。

- 1 環境に関する法規制、条例及び同意した各種協定等を遵守し、地球環境への負担を減らすための取組及び環境汚染の予防に努めます。
- 2 毎日の仕事の中で、環境への負荷の削減のため、省資源や省エネルギー、資源のリサイクル、環境に配慮した物品の使用など循環型社会の実現に積極的に取り組みます。
- 3 業務車両等からの排出ガス削減に取り組み、地球温暖化の防止に努めます。
- 4 地域とともにある企業の一員として、地域社会における環境保護への取組に積極的に参加・支援していきます。
- 5 環境目的及び環境目標を定め計画的に実行するとともに、これらを定期的に見直す枠組みを構築して、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- 6 環境に関する情報を社の内外に積極的に公開し、環境教育や啓発活動を進めることにより、環境問題への意識の向上に努めます。
- 7 この環境に対する方針を受けて自ら理解、認識を深めるとともに、この方針を広く一般に公表します。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,736	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,736

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度	t-CO ₂	令和 5 年度	t-CO ₂	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	t-CO ₂	%	
温室効果ガス総排出量	1,931	t-CO ₂	1,873	t-CO ₂	1,984	t-CO ₂	1,736	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 2.7	%	10.1	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
原単位あたりの排出量									
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
原単位あたりのみなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%		%	%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、窓を開放した状態でエアコン稼働する時間が長く、温室効果ガス排出量が増えてしまったと思われる。常に開放するのではなく時間を決めて適度に換気を行うことで、温度設定を必要以上に下げることなく効率的にエアコン稼働させることができた。今後も継続して効率的なエアコン使用ができるよう努めていく。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理 ・エネルギー使用量等の把握及び管理	・環境管理委員会を設置し、取組目標を設定 ・エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析 ・使用実態を見える化		四半期に1回、環境管理委員会を開催し、環境活動の状況について確認を行うと同時に必要に応じて見直しを実施。
省エネルギー・省資源の推進 ・照明	・不要箇所（使用していないエリア）消灯の徹底		毎日の職場巡視において使用していないエリアの消灯確認を実施。
省エネルギー・省資源の推進 ・事業用機器、OA機器等	・区分機の効率稼働 ・電気機器類の不要時電源オフ等の徹底 ・排気ファンの効率稼働等		使用していないパソコンの電源オフを実施。扇風機の置き場所を工夫することで、空調機を効率よく稼働できるようにした。
省エネルギー・省資源の推進 ・エレベーター	・2アップ、3ダウンの徹底		ミーティング等で2アップ、3ダウンを実施するよう指導。エレベーター前にポスターを掲示し階段利用推進を図った。
省エネルギー・省資源の推進 ・冷暖房	・空調の適正室温設定 ・適切な運転時間・区画の管理 ・定期的にフィルター清掃を実施 ・扉を開きっぱなしにしない。		保守業者によるフィルター清掃を実施。必要以上に温度設定を変えないよう、集中制御を行うなどして管理を行った。
自動車利用における取組	・エコ安全ドライブの徹底 （ふんわりアクセル、ゆとりある車間距離、エンジンプレーキで減速、駐停車時のアイドリングストップ、適正な空気圧管理） ・効率集配計画による車両燃費の向上、ガソリン使用量の削減		適正な空気圧管理や、ゆとりのある運転が、交通事故防止だけではなくエコ安全ドライブにもつながることを周知し、指導を行った。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目 (令和 4 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 2 年度目 (令和 4 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

なし。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

エレベーター省エネ活動および健康増進のため、階段の利用について声かけを実施。健康増進と環境保全に向け社員一丸となり取組みを実施。
--